

2025 鶴ヶ島市民体育祭第2回モルック大会ルール及び試合形式内容

- 1, 各チーム4名登録、ゲーム選出3名、他1名スコアラー、サブメンバー
- 2, 1ゲームごとに投擲順変更, 1ゲームごとに選手交代可能
- 3, 全1ゲーム制限時間20分、
- 4, 予選3ゲーム
全18チームで3ゲーム, セルフジャッジ採用 (各チームでスコア記入)
試合コートは、A,B,C,D,E,F,の6コート使用
3ゲームの合計得点で決定,同点の場合50点獲得の多いチーム,勝ち数
- 5, 決勝トーナメント
対戦相手は抽選カードで決定する
コートはA,B,C,D,の4コート使用
順位決定の優先順位は,制限時間内に50点先取、高得点
同点の場合モルックアウト採用 (各チーム3投擲)
決勝トーナメントは、大会役員が担当 (主審1,副審2,)
- 6, 終了のホイッスルでゲーム終了だが、ターン途中の場合その1ターンが終了するまで行う

大会基本的ルール

- A 1チーム連続で3回ミス (1本も倒れなかった場合) チームは失格得点は0になる
残りチームの対戦または勝利
- B 得点が50点超えた場合25点に戻る
- C 投擲ホームに入りモルック棒を落とした場合ファールになり投擲者の得点は0になる。チームの得点は変わらない。
- D モルカリーを踏んだ場合ファールになり投擲者の得点は0になる。
チームの得点は変わらない。
- E 選手が投擲終了後、コートに入った場合ファールとなり得点は0になる。
チームの得点は変わらない。
- E スキットルが、コート外に出た場合その出たところからモルック棒1本分コートラインに対して垂直にスキットルを立てる。
- F スキットルがコート外に出ても得点になる。(コート内ルールと同様)
- G 37点ルールは適用しない。
- H 主審、副審以外は、コート内の立ち入りは禁止
- I スキットルの数字、位置の確認の為にコート内に入るのは可能 (主審了解を得る)

※ 決勝トーナメントの要項は別紙参照